

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

30年 6月30日

那覇市長 殿

提出者

住 所 大阪市浪速区湊町1丁目4-38

近鉄新難波ビル

氏 名 大日本土木株式会社西日本支社

執行役員支社長 小林 良一

電話番号 06-6632-7105

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、29年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大日本土木株式会社 沖縄営業所管内作業所
事業場の所在地	沖縄県那覇市曙2丁目24番13号 曙沖商ビル5F
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	534 t	全処理委託量	534 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	532 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合焼却物)

(単位:トン)

有償物量
不要物等発生量

不要物等発生量
自ら直接再生利用した量

排出量
自ら直接再生利用した量

自ら中間処理した後再生利用した量
③ 0t

①	52t	④	0t	⑥	0t	⑨	0t	⑩	52t	⑪	0t
②	0t	③	0t	⑤	0t	⑦	0t	⑧	0t	⑩	0t
①排出量	52t	④自ら中間処理した量	0t	⑥自ら中間処理した後の残さ量	0t	⑨自ら中間処理により減量した量	0t	⑩直接及び自らの中間処理した量	52t	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	0t	⑥自ら中間処理により減量した量	0t	⑨自ら中間処理により減量した量	0t	⑩直接及び自らの中間処理した量	52t	⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t	⑤	0t	⑦	0t	⑩	0t	⑪	0t	⑫	0t
⑥自ら中間処理により減量した量	0t	⑥	0t	⑧	0t	⑪	0t	⑫	0t	⑬	0t
⑦自ら埋立処分を行った量	0t	⑦	0t	⑨	0t	⑫	0t	⑬	0t	⑭	0t
⑧自ら洋投人処分を行った量	0t	⑧	0t	⑩	0t	⑬	0t	⑭	0t	⑮	0t
⑨全処理委託量	52t	⑨	0t	⑪	0t	⑫	0t	⑬	0t	⑭	0t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0t	⑩	0t	⑫	0t	⑬	0t	⑭	0t	⑮	0t
⑪再生利用業者への処理委託量	52t	⑪	52t	⑫	0t	⑬	0t	⑭	0t	⑮	0t
⑫熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑫	0t	⑬	0t	⑭	0t	⑮	0t		
⑬熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0t	⑬	0t	⑭	0t	⑮	0t				
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0t	⑭	0t	⑮	0t						

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

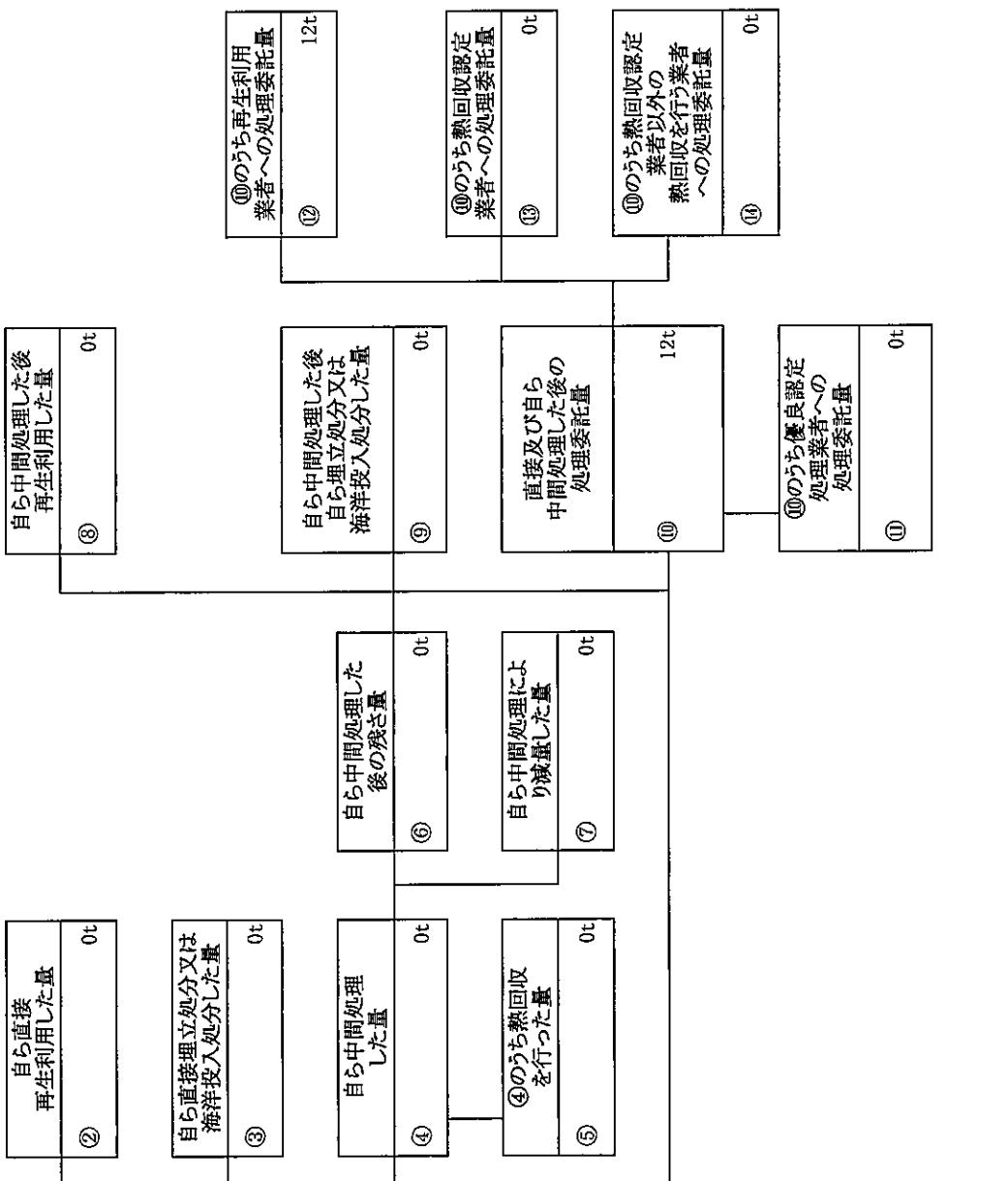
(単位:トン)

不要物等発生量

排出量	実衡値
① 12t	0t

自ら直接 再生利用した量
② 0t

項目	実衡値
①排出量	12t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
④自ら熱回収を行った量	0t
⑤自ら中間処理により減量した量	0t
⑥自ら埋立処分を行った量	0t
⑦自ら海洋投入処分を行った量	0t
⑧全処理委託量	12t
⑨優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑩再生利用業者への処理委託量	12t
⑪熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑫熱回収を行う業者への処理委託量	0t



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートガラス)

流れ



不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
② 0t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ 0t

排出量
① 1,170t

項目	実質量	自ら中間処理した量 ④ 0t	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑥ 0t	自ら中間処理により減量した量 ⑦ 0t	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑪ 1,170t	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑫ 0t	⑩のうち熱回収を行なう業者 への処理委託量 ⑬ 0t	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行なう業者 への処理委託量 ⑭ 0t
①排出量	1,170t							
②+③自ら再生利用を行った量	0t							
⑤自ら熱回収を行った量	0t							
⑦自ら中間処理により減量した量	0t							
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t							
⑪全処理委託量	1,170t							
⑫優良認定処理業者への処理委託量	0t							
⑬再生利用業者への処理委託量	1,170t							
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0t							
⑮熱回収を行なう業者への処理委託量	0t							

(単位:トン)

(第2面)

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑤ 0t

⑩のうち再生利用率
業者への処理委託量
⑫ 1,170t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ 0t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行なう業者
への処理委託量
⑭ 0t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑪ 0t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

(単位:トン)

有償物量		不要物等発生量		排出量		自ら直接再生利用した量		自ら中間処理した後再生利用した量		自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		自ら中間処理した後自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後自ら熱回収を行った量		自ら中間処理により減量した量		自ら中間処理により減量した量		自ら中間処理した後自ら直接再生利用した量		自ら中間処理した後自ら熱回収認定業者への処理委託量	
①	16t	②	0t	③	0t	④	0t	⑤	0t	⑥	0t	⑦	0t	⑧	0t	⑨	0t	⑩	0t	⑪	16t	⑫	0t
⑬	0t	⑭	0t	⑮	0t	⑯	0t	⑰	0t	⑱	0t	⑲	0t	⑳	0t	㉑	0t	㉒	0t	㉓	0t	㉔	0t
⑳	0t	㉑	0t	㉒	0t	㉓	0t	㉔	0t	㉕	0t	㉖	0t	㉗	0t	㉘	0t	㉙	0t	㉚	0t	㉛	0t
㉕	0t	㉖	0t	㉗	0t	㉘	0t	㉙	0t	㉚	0t	㉛	0t	㉜	0t	㉝	0t	㉞	0t	㉟	0t	㉟	0t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスコンガラス)

ガラス

有償物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量

自ら中間処理した後再生利用した量

排出量

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後海洋投入又は海上投棄した量

項目	実質量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の廃さ量	自ら直接埋立処分又は海上投棄した量	自ら直接埋立処分又は海上投棄した後の廃さ量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した後の廃さ量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した後の廃さ量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した後の廃さ量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した量	自ら中間処理した後自ら直接埋立処分又は海上投棄した後の廃さ量	
①排出量	968t	968t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
④自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑤自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑥自ら直接埋立処分又は海上投棄を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑦全処理委託量	968t	968t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑧優良認定処理業者への処理委託量	968t	968t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑨再生利用業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑪熱回収を行つた業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

(単位:トン)

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)

(単位:トン)

不要物等発生量

有償物量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

排出量

自ら中間処理
した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

項目

実積値

自ら中間処理した後
の残さ量

③のうち再生利用
業者への処理委託量

①排出量

④のうち熱回収
を行った量

②のうち再生利用を
行った量

③のうち熱回収を行った量

②自ら再生利用を行った量

⑤のうち熱回収を行った量

⑥のうち熱回収を行った量

⑦のうち熱回収を行った量

③自ら埋立処分を行った量

⑧のうち熱回収を行った量

⑨のうち熱回収を行った量

⑩のうち熱回収を行った量

④自ら埋立処分を行った量

⑪のうち優良認定
業者への処理委託量

⑫のうち再生利用業者への処
理委託量

⑬のうち熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処
理委託量

⑤自ら熱回収を行った量

⑭のうち優良認定
業者への処理委託量

⑮のうち再生利用業者への処
理委託量

⑯のうち熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処
理委託量

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 草木根混の表土 ✓)

(単位:トン)

木くず

有償物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
② 0t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 の残さ量
① 排出量	415t ✓	④ 0t	⑥ 0t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量
⑤自ら熱回収を行った量	0t	⑤ 0t	⑦ 0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t	⑨自ら埋立処分を行った量	自ら中間処理した後 の残さ量
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	⑩全処理委託量	自ら中間処理した後 の残さ量
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t	⑪ 415t	自ら中間処理した後 の残さ量
⑫再生利用業者への処理委託量	415t	⑫ 0t	自ら中間処理した後 の残さ量
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑬ 0t	自ら中間処理した後 の残さ量
⑭熱回収を行いう業者への処理委託量	0t	⑭ 0t	自ら中間処理した後 の残さ量

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧ 0t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③ 0t

(第2面)

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 415t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0t

⑩のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0t

⑩のうち優良認定業者への 処理委託量
⑪ 0t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。